

大阪聯合會、京都聯合會、岡山労働聯合會

神戸水手社、其他山川均非在名の祝電數通

三、各組合の情勢報告

各組合長に文々を呈進して所屬組合の情勢を報告し最後は聯合會を代表する青柳氏は大正十二年一月以降今日に至る迄の在却に於ける事業報告を述べた。

即ち聯合會の會計報告並法務建議案會計予算案各委員會の報告に緊急動議に依り別室に於て報告するものに満場一致の決せられた。

四、各議案審議

人會則改正の件

本部提出

規約草案は山根某氏より朗讀せられ議論百出約一

時了らばより修訂の結果満場一致の決。

此の時議長は千石の休憩及び午後一時より兩會を宣す。

午後一時兩會

又、宣傳部を定むる件

(造船提出)

説明、彼の川崎の大本議に於て最も悲慘を極めたる七月十九日即ち千石の兄弟たる市村君の何者りか突を殺されたる永久に紀念とする日を以て毎半年宣傳部を定むる事あり。

議論百出の結果本部主席青柳氏の元江修訂案、満場一致の決。

宣傳部は本部大會に於て五月一日と定められたる事あり、此の案は神戶聯合會と修訂し「